

五

第6回

万葉の郷ととりけん

全国高校生短歌大会



Illustration: 武田愛子

—大会審査・トークセッション登壇—



大辻隆弘氏 穂村 弘氏 江戸 雪氏

令和6年

10月26日(土) 13:30~(13:00開場)
とりぎん文化会館 第1会議室

現代短歌界を代表する歌人に聞いてみよう、短歌のアレコレ!(質問募集 10/11まで)

短歌トークセッション 15:00~15:45

高校生・一般の方どなたでも

観覧者募集

入場無料

定員150人(事前申込不要)

大会後
開催



山上憶良と大伴家持、二人の万葉歌人が国司として赴任した万葉の郷とっとりけんに、全国から短歌を愛する高校生が集い、思いをこめた短歌を発表して優勝を目指します。

大会後は審査員による短歌トークセッションも開催!あなたの質問にも答えてくれるかも!?

スケジュール

13:30～ チーム部門 本選大会(準決勝・決勝)
【休憩】
14:45～ 表彰式
15:00～ 短歌トークセッション

※進行の都合上、時間は前後する場合があります



出場チーム: 予選を通過した4チーム(短歌大会ウェブサイトにて9月中旬発表予定!!)

対戦方法: トーナメント戦で、準決勝2試合・決勝を行います。

作品発表 各チームが万葉衣装に身を包み、自作の短歌作品を発表。

質疑応答 審査員が作品について質問し、作者が答えます。

判定 審査員が勝者を判定し、講評をお話します。



審査員: 大辻隆弘氏 歌人、「未来」編集発行人・選者、宮中歌会始選者、現代歌人協会会員
穂村弘氏 歌人、歌誌「かばん」所属、日経新聞歌壇選者
江戸雪氏 歌人、「西瓜」同人、中之島歌会、2022年度「NHK短歌」選者

表彰: 優勝、準優勝、敢闘賞(2チーム)

※表彰式では、個人部門の表彰(特別賞5名)と、審査員による講評も行います。



来場者の感想

- ▶ 良い作品が沢山ありました。言葉の力すごい。元気ももらって帰ります。
- ▶ 審査員の講評が素晴らしかった。トークセッションも楽しく、短歌が詠みたくなった。
- ▶ 作者から歌の内容を直接聞くことができ、自分が読んだ時とは違う見方ができておもしろかった。



短歌トークセッションで審査員にお答えいただく質問を募集します。

歌人に聞いてみたいことや、短歌を作る上で疑問に思っていることなど、何でもOK!
短歌大会ウェブサイトから投稿いただくか、①質問・②住所・③名前・④電話番号を記載の上、郵送または電子メールでお送りください。(締切:10/11☎※必着)

※時間の都合上、お送りいただいた全ての質問にお答えできない場合があります。予めご了承ください。

どうして短歌を作り始めたのですか?

歌を思いつくのはどんなとき?

お問合せ・質問の送り先

鳥取県 地域社会振興部 文化政策課
〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220
TEL. 0857-26-7843 FAX. 0857-26-8108
E-mail. bunsei@pref.tottori.lg.jp

万葉の郷とっとりけん 全国高校生短歌大会
ウェブサイト

万葉の郷とっとりけん 短歌大会 🔍

<https://www.pref.tottori.lg.jp/tanka/>



👉 大会の観覧にあたり、手話通訳又は要約筆記が必要な場合は、9月30日(月)までに問合せ先までご連絡ください。

主催: 鳥取県

後援: 鳥取県教育委員会 鳥取県高等学校文化連盟 鳥取県歌人会 朝日新聞鳥取総局 共同通信社鳥取支局 山陰中央新報社 産経新聞社 新日本海新聞社 時事通信社鳥取支局 中国新聞鳥取支局 毎日新聞鳥取支局 読売新聞鳥取支局 NHK鳥取放送局 TSKさんいん中央テレビ テレビ朝日鳥取支局 日本海テレビ BSS山陰放送 一般社団法人鳥取県ケーブルテレビ協議会(順不同)

とっとり県民カレッジ連携講座